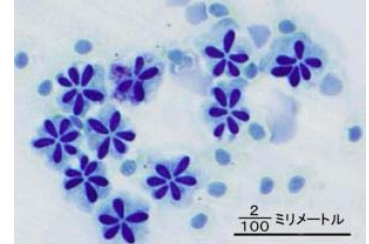


クドアの概要及びリスク管理措置

クドア(クドア・セプテンpunkタータ)とは

- クドア・セプテンpunkタータ *Kudoa septempunctata* (以下「クドア」という)とは、魚の筋肉に寄生する粘液胞子虫類の一種。
- 粘液胞子虫類は、多毛類(ゴカイなど)と魚類の間を行き来していると考えられているが、人への寄生は報告されていない。
- クドアが寄生したヒラメの刺身を食べた後、数時間程度で一過性の嘔吐や下痢を示した事例が報告されている。
- -15~-20℃で4時間以上の冷凍、または、中心温度75℃5分以上の加熱により病原性を失う。



出典:クドア・セプテンpunkタータの胞子
(独)水産総合研究センター提供

食品としての安全基準

- 食品衛生法に基づき、魚の筋肉1グラム当たりのクドアの胞子数が 1.0×10^6 個を超えるものは、販売禁止。

生産段階でのクドアのリスク管理

- 養殖場等においては、養殖魚を出荷前に検査し、クドアの寄生が確認された場合は、活魚、生鮮品での出荷を自粛(放流用種苗については放流を中止)。

